

## 第2回鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会議事録

- 1 日 時 平成27年8月5日（水） 午後2時～午後4時
- 2 場 所 鎌ヶ谷市役所 6階 第1・第2委員会室
- 3 出席委員 岡秀明委員長、布施泰男委員、田中修委員、白石誠子委員、若泉哲也委員（鎌ヶ谷市道路河川管理課長）、大塚潤一委員（鎌ヶ谷市企画政策室長）
- 4 関係者 宮本敏夫（敬称略、八木沼良介副委員長代理）、飯塚辰雄（敬称略、大谷敏則委員代理）、徳永昌子（敬称略、徳永敬委員代理）、今井崇徳（敬称略、小笠原直樹委員（鎌ヶ谷市こども支援課長）代理）、牧野力也（敬称略、桂本弘明委員（鎌ヶ谷市高齢者支援課長）代理）
- 5 欠席委員 菅野勝利委員
- 6 事務局 都市計画課：金子文夫課長  
都市計画課都市政策室：佐瀬功室長、河本好範室長補佐
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題 「鎌ヶ谷市コミュニティバスの課題に対する対応策の検討について」
- 9 議 事

司会	<p>定刻となりましたので、平成27年度、第2回鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会に、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。前回同様、本日の司会は、都市計画課都市政策室の佐瀬が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、会議録を作成する都合上、本委員会の会議での議事は、録音をさせていただきますことをあらかじめご了承ください。</p> <p>それでは、議事に入ります前に、鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会設置要綱第6条第2項の規定によりまず会議の成立について、ご報告いたします。</p> <p>菅野委員につきましては、本日、所用により欠席との連絡を受けており、当検討委員会委員12名の内現在6名の委員、5名の代理の委員が出席しており、過半数を超えておりますので、会議は成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>次に、会議に入ります前に本日の資料の確認をいたします。 本日の資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①会議次第</li><li>②バス事業者からの提出資料</li></ul>
----	--

<p>委員長</p>	<p>③前回会議の会議録概要 の3点でございます。</p> <p>それでは、鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会設置要綱第6条第1項の規定により、岡委員長に議長をお願いしたいと思います。岡委員長よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、第2回鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会を開会いたします。</p> <p>まず、最初に会議録署名委員の選任について、委員の皆様にお諮りいたします。</p> <p>当委員会の会議録につきましては、委員会終了後、事務局にて作成することとなりますが、会議録の署名委員につきましては、要綱第4条第1号から第4号に規定される委員から田中委員に、要綱第4条第5号に規定される市職員の委員から大塚委員の2名をお願いをしたいと思いますと考えますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員全員</p>	<p>異議なし</p>
<p>委員長</p>	<p>ご異議がございませんので、会議録署名委員は田中委員、大塚委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思いますが、議事の前に本委員会は、要綱第7条の規定により、会議は公開することとなっております。</p> <p>本日、傍聴を希望される方は、いらっしゃいますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、傍聴を希望されている方は、おりません。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題の「課題に対する対応策の検討について」でございます。</p> <p>前回の検討委員会の中で、バス事業者様をお願いしておりました土曜日、日曜日の運行、増便、路線の見直し、時刻表の改定、運賃の改定に対する検討案について、ご説明いただきたいと思ひます。</p> <p>船橋新京成バス様、ちばレインボーバス様、鎌ヶ谷観光バス様の順でご説明をお願いいたします。</p>
<p>宮本様</p>	<p>船橋新京成バスの宮本でございます。本日、八木沼が所用のため欠席でございますので、代理で出席をさせていただきます。なお、本日実務を担当している営業課の中林もオブザーバーとして同席させていただいております。よろしくお願ひいたします。</p>

船橋新京成バスのききょう号は、南線を担当しております。こちら県道の船取線、木下街道の一部区間を経由しております。渋滞箇所を多く運行いたしております。遅延が多く発生しており、ここ最近、かなり悪化の状況でございます。走行環境の改善等が行われれば良いのですが、なかなか難しい状況でございます。遅延について、運行のみで改善を図るとなると、運行時間の見直しが大前提となります。また、運行本数を維持しながら、運行の遅れの対応となりますと、現在、バス1台で運行しておりますが、2台で運行することで遅延の対策を図りたいと考えております。現在も、渋滞が多い箇所を運行しており、大きな遅れが発生したときには、自社の船橋新京成バスをもって代車運行をしているという実績もございます。そのため、バス2台の運行が遅延対策に一番必要な条件と考えております。ただ、バス2台となりますと自社の車両も運用しなければいけない状況となります。ききょう号も運行を開始してから長い年月が経っております。市民の方からの認知度も上がってきていると思いますので、バス2台使うというところで、自社のカラーリングの車両を運用させていただければ、かなり柔軟な対応ができるのではないかと考えてございます。当然のことながら、現在も代車運行をしているときには、マグネットでききょう号の表示をしております。ききょう号の表示をしながら、自社車両2台で運行ができれば遅延の対策ができるのではないかと考えてございます。それから、要望が出されておりました土曜日、日曜日の運行についてですが、原則として、土曜日、日曜日にも運行をする考えでおります。ただ、休日となると、さらに車が増えるということで、遅延対策については、バスの必要台数を考える等、更なる対策も講じていかなければならないですが、原則として、土曜日、日曜日についての運行をする考えでございます。

それと、前回出されておりました路線の見直しの要望についてですが、馬込沢駅につきましては、現在、船橋新京成バスの鎌ヶ谷グリーンハイツ線及びちばレインボーバス様の路線バスが2路線入っております。馬込沢駅への延伸ということになりますと、バスの向きを変えるために西口ロータリーに入らなければなりません。路線バスが停車していた場合には、ロータリーの幅がありませんので、右折で同じタイプのバスが侵入することが不可能です。路線バスのダイヤにも影響が出てくる可能性がありますので、馬込沢駅への延伸は難しいという判断です。東道野辺三丁目地区についても、要望が出されておりましたが、今回、弊社では、遅延対策に力を入れていくということで、船取線から出入りする場所では、渋滞が発生するということで、さらに遅延が大きくなる可能性がございますので、本線上の停留所をご利用していただきたいという考えでございます。運行についての現状と弊社の改善案については以上です。

委員長

私の方から、質問してよろしいでしょうか。

宮本様	まず、バス2台の運行についてですが、現在もされているのですか。
委員長	混雑している時に、行った例はございます。
宮本様	その経費は、どこから出しているのですか。
委員長	自社負担です。
宮本様	市からは、補助をもらっていませんか。
委員長	自社の車両を使っただけの代車運行です。
宮本様	時刻表など、具体的には、どのようにしているのですか。
委員長	終点の鎌ヶ谷大仏駅は、弊社の鎌ヶ谷営業所と隣接した地点になりますので、当然、バスが到着していないということがわかります。新鎌ヶ谷駅行きのバスが、鎌ヶ谷大仏駅の発車時間を大幅に遅れてしまうということが把握できれば、弊社の予備のバスと乗務員で時間どおり鎌ヶ谷大仏駅を発車させるという対策をしております。ただし、弊社、東線が使用しているききょう号は1台しかありませんので、バスに自社で作ったマグネットの表示板を貼り付けて、行き先を表示して代車運行をしております。
宮本様	時系列的には、既に代車運行をしているということと変わらないということですか。
委員長	変わりません。
宮本様	かなり渋滞が起こるということですが、1時間遅れで運行していることもあり、それを解消したいということですか。コミュニティバスについても、路線バスと同じように運行したいということですか。
委員長	定時性や運行回数が保てれば、お客様への信頼も上がると考えておりますので、そちらを重点的に取り組んでいきたいと考えております。
宮本様	新規のバス停設置の要望について、今はできないということですね。調整が必要ということと、今の路線ではどうしても混雑が発生するので、大変難しいということですね。
委員長	バス2台を運行するという事は、どういうことですか。

宮本様	<p>遅延対策として考えております。現在は、新鎌ヶ谷駅と鎌ヶ谷大仏駅と起点が2箇所ございますが、起点の鎌ヶ谷大仏駅から終点の新鎌ヶ谷駅に着いて、折り返しで起点の新鎌ヶ谷駅から終点の鎌ヶ谷大仏駅への到着にも大きな遅れが見込まれる場合には、遅れを取り戻すために鎌ヶ谷大仏駅から代車のバスを出している状況です。それを初めから2台のバスで運行していくことができれば、各起点からのバス発車時間を守る事ができるので、遅延時間の解消になると思います。</p>
委員長	<p>これはバス2台での運行ですが、トラブルがあったらどうするのですか。</p>
宮本様	<p>自社車両で、対応をすることになります。 また、行き先の表示については、市民の方が誤解を招くことが無いようにしていこうと思います。</p>
委員長	<p>この件について、まだ全て終わってはいませんが、委員の方でわからないことなどはないですか。</p>
宮本様	<p>運行関係については、以上でございます。大きな点は、遅延対策を図るといことと、土曜日、日曜日の運行をするということをご提案させていただきました。</p>
委員長	<p>現行のききょう号と路線バスとで、サービス内容はどのように変わるのですか。</p>
宮本様	<p>車両構造自体は、バリアフリーに対応した車両を使いますので、変わりません。あと、サービスで大きく変わることは、路線バスを使用することによって、交通系ICカードのいわゆるSUICA、PASMOの使用が可能になります。路線バスにはICカードの装備がしてありますので、ききょう号の方でも利用可能になります。車内放送についても路線バス仕様ですので、ちゃんと流れますし、行き先についても表示されます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 つづいて、ちばレインボーバス様お願いします。</p>
飯塚様	<p>ちばレインボーバスの飯塚と申します。よろしく申し上げます。 東線と東線2という所を、ちばレインボーバスが担当しております。路線の問題としては、新京成バスさんと同じで、東武鎌ヶ谷駅周辺からの混雑で遅れが出てしまっておりまして、かなりのお客様から苦情を頂いております。あまりに遅れが激しくなってしまうと、運転手の休憩時間などのコ</p>

ンプライアンスの問題等もありますので、新京成バスさんと同様に予備の運転手や小型の路線バスを出して、代車の路線バスを持ち出しての運行をすることが度々ございます。今後につきましては、要望等を踏まえまして、遅れを絶対に出さない、定時性を保つということに最大の努力をいたします。そのため、1台のバスでは無理ということで、予備体制で実質2台を使っでの運行となるのではないかと思います。内容としては、ダイヤの検討をしております。あとは、お客様に対して、良いことといたしますと、遅れがなくなるということとICカードが使えるということがございます。また、365日、平日は今よりもバスを増やすことによって、運行回数の増加が可能かどうか検討をしております。土曜日、日曜日になりますと、行政施設が閉まる場所もありますが、運行をしていこうと考えております。ただ、平日から比べると運行回数を少し落としていこうと考えております。

委員長

今の話を確認します。  
土曜日、日曜日の運行をする。  
増便についても考えている。  
現在、1番検討をしていることは、時刻表の見直しで、路線の見直しについても検討をしているということですね。  
ICカードの設備は、全てのバスに装備されるのですね。

飯塚様

はい。

委員長

バスは、特定のバスを使うのですか、それとも空いている車両をローテーションを組んで使うのですか。

飯塚様

最終的には、ローテーションを組んでやっていこうと思います。

委員長

極端な話をすれば、増車をしなくてもやっていけるということですね。明日から始めようとするれば、明日からできるということですね。

飯塚様

あとは、運転手がいれば、やれると思います。

委員長

ありがとうございました。  
つづきまして、鎌ヶ谷観光バス様お願いいたします。

徳永様

鎌ヶ谷観光バスです。よろしくお願ひいたします。  
鎌ヶ谷観光バスは、ワゴン車で、バリアフリーの車いす対応をやっておりまして、車両が通常15人のところを運転席と助手席を除いて、後ろが12人ですが、バリアフリー対応車となっております、10人の定員というこ

とで運行しております。グリーンハイツの周辺から東武鎌ヶ谷駅に向けて、走り始めると、どうしても、1人、2人とバス停で乗れない人が出てきております。現在は、乗るお客様が決まっています、お客様同士で譲り合われているという状況です。ところが、年々、地域にお住まいの方が高齢化してきており、各バス停から乗られている方も増えて、グリーンハイツ周辺で定員近くになるため、バス停を回り始めると、精工舎通り周辺のバス停で乗れないという方が、一人、二人と出ていたことがありました。

また、起点の東武鎌ヶ谷駅からくぬぎ山を回り、終点の市役所まで行き、また東武鎌ヶ谷に戻るのに、1運行で2時間かかっているの、利用者の方からどうかならないのかと意見を頂いております。

これから、要望を頂いたくぬぎ山の市街地まで入っていくことになり、グリーンハイツの先の南児童センターの方にも延伸となりますと、現在10分から20分程の遅れが出ている中で、さらに路線が長大になり、20分から30分の遅れが発生してしまうようなことになるかもしれません。

その対策として、市役所が起点で、くぬぎ山駅を経由して北初富駅を回り、新鎌ヶ谷駅を終点とし、上りと下りを約1時間で回ることができる路線と、東武鎌ヶ谷駅からグリーンハイツを経由し北初富駅に入り、右回り、左回りで1時間とする2路線にすることで、現在1日の運行が4.5便のところを7.5便での運行が可能になります。ただ、土曜日、日曜日は同じように走れるかどうかという問題があります。また、ファイターズタウンでイベントがあると、東武鎌ヶ谷駅で10人以上が待っていることもあり、そうなってしまうと病院への通院で普段バスを使う人が乗れなくなってしまうということもあるので、2台のバスでの運行も考えていかなければならないのかなと思います。

委員長

バスを2台使うということですか。

徳永様

そういうことです。現在のルートをもつに分けるという考え方です。

委員長

最後尾にリフトを付けていて、そのため最後尾の席が無くなってしまいうことですが、リフトの上に席を設置はできませんか。このことについては、また後で話をいたしましょう。

3社から説明がありましたが、委員の方から疑問点はありませんか。

布施委員

よろしいでしょうか。

委員長

どうぞ。

<p>布施委員</p>	<p>はい。</p> <p>鎌ヶ谷観光さんは、2路線に分けるということですね。新京成バスさんとちばレインボーバスさんは、ニーズによって微調整されるということですが、基本的に現在の路線のところにバスを増やすということですね。土曜日、日曜日にもバスを走らせるとなると、土曜日に一番道路の渋滞が起きるのではないかと思いますので、土曜日の時刻表が変わってしまうのも仕方がないのかなと思います。また、アンケート調査を細かくやらないとわからないと思いますが、土曜日、日曜日になると行き先が変わってくるのではないかと思います。行政施設への用事から、買い物が多くなって行って、ニーズが変わってくると思います。それを調べて対応した方がいいのかなと思います。この会議を超えた少し先の話になるかもしれませんが、土曜日、日曜日に診療をしている病院がありますので、そこで午前中に動かしているバスと競合する部分をどのように考えていくのか、あるいは病院のバスで足りないところへコミュニティバスを運行させるのかを考えていくと良いかもしれません。</p> <p>もう1つは、船取線や木下街道を運行している南線では、鎌ヶ谷市の渋滞発生場所のほとんどを運行しているということで、渋滞によるバスの遅延が読めない路線だと思います。ほかの路線では、ある程度の遅延が出て、先が予想できると思いますが、南線については全く読めず、遅れが発生するとバスが止まってしまうのではないかと状況になると思います。それで完全な解決策ではないですが、鎌ヶ谷市にはイオンやマルエツなどの流通のスーパーなどがあると思いますので、商業施設に停留所をつくって、バス利用者が休むことができる場所があると良いと思います。バスにとって一番良いことは、時間どおりに停留所に到着することだと思いますが、鉄道とは違って特定の線路の上を走っているわけではないので、ある程度時間が遅れても仕方がないのかなと思います。それで、次のやり方として、時刻表に余裕を持たせてバスを走らせ、さらにバスを待っている場所を作ればコミュニティバス利用者はバス到着の遅れに対して我慢ができると思います。</p> <p>あとは、バス停をお店の前を出して、椅子を出してもらおうといったことで、ベンチや待合スペースなどは、地区の住民で管理をしていただくといったことも考えられます。市民の方が、参加できる仕掛けをつくっていただけると良いのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>道路河川管理課長、何か意見がございましたらお願いします。</p>
<p>若泉委員</p>	<p>土曜日、日曜日の運行の話が出ていましたが、利用者のアンケートにある東線で一番利用者が多い、さわやかプラザ軽井沢は、月曜日が休みでどのような状況なのでしょう。例えば、土曜日、日曜日は開館しているので、利用者が多いと思いますが、月曜日は休館にもかかわらずバスが運行してい</p>



	<p>て、行く必要がない終点になっているのではないかと思います。そういったところから、利用者のニーズを考えられるのかなと思います。</p>
委員長	<p>さわやかプラザ軽井沢は、旋回できるのですか。</p>
事務局	<p>さわやかプラザ軽井沢の停留所につきましては、開館日には、正面の門から入り、敷地内に停留所がありますので、そこで旋回をして出口の門から出ていくことになっております。休館日につきましては、さわやかプラザ軽井沢の先にある駐車場で旋回をして折り返すといった対応をしております。</p>
委員長	<p>確認をさせていただきます。 土曜日、日曜日の運行を検討する。 増便につきましては、支援に関しての増便と時刻表に対しての増便を考えている。 路線の見直しについては、色々問題があるということで、やらないというわけではなく検討をしていく。 時刻表の改定については、現在の時刻表と全く違うものが出てくる可能性があるということ。 あとは、運賃の改定については、まだ確認してないですね。 現在は100円ですが、ICカードが導入されるといくらでも設定ができるということですね。 バス事業者様の意見をお願いします。</p>
宮本様	<p>はい。 正直なところ、現状の経費をペイできていない部分がありますので、運賃を上げさせていただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>どれくらいですか。</p>
宮本様	<p>近隣市のコミュニティバスとの関係もありますので、白井市さんと同じ150円です。現在、こどもの運賃がありませんので、先程ご説明をさせていただきとおり、こども用のICカードがありますので、こども運賃の設定もしていきたいと思います。そうすることで、こども運賃の値下げを設定するといったICカードの利点が活かせると思います。</p>
委員長	<p>白井市さんのこども運賃はいくらですか。</p>
宮本様	<p>中学生が100円で小学生が50円です。ICカードを使った支払いでは、運転手で金額の操作ができます。路線バスなどでは、自動的なタッチに</p>

	<p>なりますので、こども運賃は、半額で設定ということになります。</p>
委員長	<p>半額の運賃ですといくらになりますか。</p>
宮本様	<p>1円単位で設定が可能なので75円になります。現金ですと80円です。</p>
今井様	<p>現在のコミュニティバスで、小学生は無料で乗れますか。</p>
事務局	<p>鎌ヶ谷市は、こども運賃の設定が無く、誰でも一律100円の運賃設定で、小学生は有料で小学生未満が無料です。</p>
宮本様	<p>ICカードを導入すると、こども用のICカードがありますので、自動的にこども運賃が支払われるようになります。ですので、ICカードを導入する以上は、こども運賃を設定していかなければならないということです。</p>
委員長	<p>小学生未満については、路線バスの運賃をどのように扱っていますか。</p>
宮本様	<p>大人1名に対してこども2名までが無料です。こども3名になると1名分のこども運賃になります。小児は、半額で幼児と区別をしております。</p>
委員長	<p>こども支援課としてどうですか。</p>
今井様	<p>子育て支援策として、こども運賃が大人と区別され、値下げがされるのであれば、その方がいいと思います。</p>
委員長	<p>大人の運賃と区別ができればいいということですね。区別ができて、さらに安ければ安いほど良いということですね。</p>
今井様	<p>そういうことです。</p>
若泉委員	<p>委員長よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>どうぞ。</p>
若泉委員	<p>値上げをしたときに、乗客が減るということを聞いたことがありますが、それでも運賃の総収入が上がっていく、または変わらないということになるのでしょうか。例えば、100円が150円になったら、乗客が減って、結局は総運賃収入が上がらない、もしくは変わらなかったということは考えられないのでしょうか。そういった心配は、するべきだと思います。</p>

宮本様	<p>路線バスでは、逸走率という考え方があり、それについても検討をいたしますが、路線の形態を維持していくためには、運賃を改定しなければならないところがあります。また、ＩＣカードを使えるようになりますと、現金を用意しなくても乗れるという手軽さが出てきますので、運賃を上げることでＩＣカードが導入できて、さらにＩＣカードをお持ちの方はＩＣカード割引もあります。</p>
委員長	<p>いくらぐらい安くなるのですか。</p>
飯塚様	<p>現在１００円で乗られているお客様が、現金だと１５０円ということになります。ＩＣカードだとそこから割引率が出てきます。</p>
宮本様	<p>また、ＩＣカードは、「バステ」というサービスがあります。これは、１か月間で切れてしましますが、ＩＣカードでバスを利用する度にポイントが貯まっていき、ある程度ポイントが貯まるとチケットという形でお客様に還元するというサービスです。例えば、路線バスをたくさん使っていた方が、ききょう号でもポイント貯めていくということもできるので、利用は増えていくのではないかと考えております。</p>
白石委員	<p>ＩＣカードを買ったことがないので、わからないのですが、こういった場所で購入をするのですか。</p>
宮本様	<p>使用できるＩＣカードは、ＳＵＩＣＡやＰＡＳＭＯなどでＪＲ東日本さんや私鉄さんのカウンターなどで買えるもので、特殊なものではありません。ですので、路線バス車両を使用することによって、そういったＩＣカードが使えるようになります。</p>
白石委員	<p>わかりました。それなら私も持っています。</p> <p>それと、現在の時刻表を見るとほとんどが１分刻みになっていて、信号待ちをすると時刻表どおりに運行ができなかったことがありましたが、これから見直しをするということで、３社の事業者にご協力をしていただいて、１台のところを２台で運行していただけるということですね。ただ、この長い区間をどのように分けるのでしょうか。２台のバスを鎌ヶ谷大仏からスタートさせるのか、それとも違うところからスタートさせるのか、どのように変わるのでしょうか。</p>
委員長	<p>私の方からバス事業者様にお聞きいたします。</p> <p>現在は、１台のバスでコミュニティバスの運行を図っていますが、見直しの後は、朝からコミュニティバスが２０便あったとし、会社に７０号車まで</p>

	<p>のバスがあれば、1便、2便は同じバスを使って、その後の便は別のバスを使うということで、どのバスがコミュニティバスの路線を走るかは分からないという運用をされるということですね。2台ということではなく、会社全体のバスで調整するというということですね。</p>
宮本様	<p>はい。 間合い運行をする場合もあれば、予備の車両を使うということもあります。</p>
委員長	<p>コミュニティバス路線についても、主力路線の一つとして取り入れるということですね。今までは、1台のバスしかなかったため1時間遅れということがありえましたが、緊急増便をして時刻表から遅れないように運用するという、そのかわり現在のききょう号のカラーリングではなくなるが、マグネットや上部にききょう号と表示をすることになる。大部分は、バス会社のカラーリングになるということですね。実質でバス2台を手配するという、毎日同じ2台のバスで運用するというということではないということですね。</p> <p>要望があった中で、大きな問題だったバスの遅延対策として、今までは、1台のバスで運用をしており、遅れが出てしまうと、ずっと遅れたままになってしまっていたところを改善していただけるということですね。</p>
宮本様	<p>2台、3台ということではなく、1台のバスだけで運行することではないという考え方です。</p>
委員長	<p>必要に応じて、3台のバスを投入することもあるだろうし、もし何かあれば空いているバスを全部投入していただけるということですね。ほかの路線バスとの兼ね合いもあるでしょうが、ほかの路線バスと共同して運行していただけるということですね。</p>
委員長	<p>鎌ヶ谷観光バス様。 運賃の話がありましたが、いかがですか。50円の運賃増額で50円のおつりを出すのは大変ですか。</p>
徳永様	<p>そのような場合には、回数券で対応するといったこともできると思います。</p>
委員長	<p>100円のままがいいですか。</p>
徳永様	<p>運賃については、南線や東線に合わせないといけないと思います。乗り継</p>

	<p>ぐということも考えると、こちらが100円で、ほかは150円というのはできないのかなと思います。こども運賃についても、東は半額で西はそうじゃないというのは、おかしいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>東と西では運行形態が違うので、必ずしも同じということではないと思いますが、市からの要望はどうでしょうか。次回の検討会議で聞くことにしましょう。</p>
<p>委員長</p>	<p>市の予算について聞きたいのですが、金額を教えてくださいませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。 鎌ヶ谷市では、5年ごとの基本計画を策定しております。現在、後期基本計画第3次実施計画の中でございます。この計画につきましては、平成27年度から平成31年度までの5か年の計画を立てております。この中でコミュニティバスの運行につきましては、平成27年度は、2100万円ですが、市長公約により、コミュニティバスの利便性の向上を図ると掲げておりますので、平成28年度から平成31年度までは、計画上は、年間約4300万円を実施計画の中で計上しております。ですので、今年度より約2倍の予算を実施計画上で計上しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>4300万円というのは、来年度1年間の分ですか。平成27年度は別として、平成28年度から残り4年間は4300万円で動くということですか。</p>
<p>徳永様</p>	<p>すみません。4300万円というのは、車両費が入っていないですね。単純にバスが2台ずつになるので、2倍の予算ということなのか、それとも総額で4300万円ということなのですか。</p>
<p>委員長</p>	<p>私は、365日の運行とバスの利便性を図るということを含めてと考えています。 365日の運行となると2倍の予算は、必要ないと思います。</p>
<p>徳永様</p>	<p>少なくとも、バスが2台となると、運転手の人件費が倍になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回の問題は、細かい積み上げで考えていくことではないと思います。 市の予算が出ましたが、運行経費の軽減につきましては、バス事業者様からの説明の中で、運行経費を軽減するため第1点として、「ききょう号」として運行するバスについては、各バス会社で所有する車両との共有化を図り運行経費の軽減に努めたいため、現在の「ききょう号」のようなカラーリン</p>

グはできないこと。

第2点として、運行経費をできる限り軽減するので運賃収入については、年度末に精算することなく運行会社の収入としてほしいこと。これは、想定した運賃収入を加味した一定額の運行費用を市が負担し、想定した以上、以下の運賃収入となっても年度末に精算しないという考え方で良いと説明がありました。

このあたりを説明していただけますか。

運賃を150円にしたいということは、ただ単に他市と運賃を合わせたいということではなく、運賃収入を増やしたいということですよ。何のためですか。

宮本様

自社努力で各種対策、定時性の確保等をしていきますので、それに対しての報奨を頂ければ、さらに運賃収入が増えていくように努力をしていこうと考えますので、お願いしていきたいと思います。

委員長

それはつまり、一見、聞こえは良いですが、運賃収入があまり芳しくなければ、時間的要件を見直していくということですか。

宮本様

運賃収入が改善されなければ、バス事業者としての対応も考えていかなければならないということもあると思います。

委員長

シビアに見ていくということですね。

宮本様

当然、運賃収入が上がれば、それだけお客様がバスに乗っていただいているということになりますので、それに対応したことをやっていかなければならないと思います。

委員長

実際にバスを走らせているときに、時刻表を改定したいということになれば、バス事業者ですぐに直したいということですか。

宮本様

通常路線バスではありませんので、そこまでやりませんが、当然、鎌ヶ谷市さんに提案等をさせていただきたいと考えております。

飯塚様

ただ、赤字となってしまったときの補填等については、どうしたらいいかと考えておまして、車両の入れ替えなども含めて、最終的にはバス事業者でやっていかなければならないのかなと思いますので、運賃を蓄積して車両費に充てるといったことで、バス事業者としてやっていければと考えております。

事務局	委員長よろしいでしょうか。
委員長	どうぞ。
事務局	事務局から現在の補助金の仕組みを説明させていただきたいと思います。 現在、コミュニティバスの運行経費については、前年度に各バス事業者から翌年度の運行経費の要望があげられます。要望に沿って、財政当局に予算を要求します。そして、運賃収入を含めての運転経費となりますので、補助金に運賃収入が足されたものとなっております。つまり、翌年度の運行経費から前年度の運賃収入を引いたものが、市からバス事業者への補助金ということになります。ただ、前年度の運賃収入をベースにしていますので、当該年度の運賃収入に置き換えて、最終的に精算をします。
委員長	現在の補助金が2100万円として、365日の運行とした場合については、約100日運行日が増えるので、さらに約1000万円の経費がかかり3100万円の経費となると考えられます。約4000万の予算とした場合には、残りの1000万円の補助金で、増便や路線の変更や定時性の確保を考えるということで、よろしいでしょうか。そこから、運賃収入の問題が出てくるということでしょうか。
宮本様	先程、運行経費がペイできてないと話をさせていただきましたが、翌年度のバス事業者からの要望額については、実情として8割程度しか頂けておりません。ですので、予算が2倍になったからといって、2倍のサービスができるかという点と難しいと思います。
若泉委員	委員長よろしいでしょうか。
委員長	どうぞ。
若泉委員	この会議の中においては、今の話を理解できます。 しかし、市民に理解してもらえないと、市民の税金を払う以上は難しいと思います。
委員長	まずは、財政当局に対してちゃんと説明ができなければ、市民にも説明ができないと思います。ですから、コミュニティバスの利便性や利権について、バス事業者からしっかりとプロとしての運用の仕方をして、市民に対してレベルの高いサービスが提供できることを提案してほしいと思います。 その中で、運賃の値上げについても検討していけばいいのではないのでしょうか。そのかわり、こども料金等については値下げをしますということでは

	<p>ないでしょうか。</p> <p>もう一度お聞きします。</p> <p>運行経費の運賃については、最後に精算をすることでよろしいのでしょうか。現在と同じように、これからも精算をすることでよろしいのでしょうか。</p>
宮本様	<p>自社努力によって、コミュニティバスを運用していきたいと考えておりますので、バス事業者に運賃収入を頂きたいです。</p>
委員長	<p>しっかりと理解いたしました。</p>
	<p>ききょう号のカラーリングについては、なし崩しとなっており、バス事業者の方でバス会社のカラーリングにしたいとおっしゃっておりますが、いかがでしょうか。</p>
若泉委員	<p>すごく浸透したデザインだと思いますが、サービスの向上を図るということと比べると、残念ではありますが、仕方がないのかなと思います。</p>
委員長	<p>何かききょう号に対して、路線バスと区別をするための特別なことはされますか。</p>
宮本様	<p>はい。</p> <p>当然、バスの識別をいたします。弊社においては、実績がありますし、電光式の行き先の表示についても、ききょう号と入れ替えますので、ちゃんと分かりやすい表示をしていこうと思います。</p>
委員長	<p>コミュニティバスのカラーリングについて、ほかに意見はありますか。または、異議のある方はいますか。</p>
若泉委員	<p>お年寄りの方が、バスのデザインだけで判別をしていると聞いたことがあります。できることなら、今のデザインで、という思いがあります。</p>
委員長	<p>バス停については、新しく作り直すのですか。</p>
宮本様	<p>木下街道沿いで弊社の路線とコミュニティバス路線で競合しているところがありますが、バス停の位置が違いますし、また、デザインが違うので利用者の方が迷うということはないと思います。</p>
事務局	<p>現在のバス停につきましては、市の方で設置をしております。路線の変更</p>



飯塚様	<p>等があってバス停の追加や削除ということがあれば、基本的には市で設置をする考えはありますが、今後の運行体制の内容によって、バス事業者と、どういう体制でやるのかという話も必要になるのかと考えております。</p> <p>しかし、コミュニティバスだと一般の市民の方から市に対して要望があがると思っていますので、そういった大きなことの決定となると、バス事業者としては難しいので、市に動いてもらいたいと思います。</p>
委員長	<p>路線バスと同じような運行体制をしていくということだと、バス停なども含めてバス事業者でやっていくことだと考えていました。</p> <p>今、お話があった行政に動いてもらわないと作れないバス停についてであれば、行政で動くということもあると思いますが、バス停の設置の問題については、バス事業者さんの方で路線バスと同じようにやることになるのかなと思います。</p> <p>カラーリングについて、再度、お聞きします。</p> <p>ききょう号独自のカラーリングでなくても良いとお考えの方は、挙手をお願いいたします。</p>
今井様	<p>質問をよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>どうぞ。</p>
今井様	<p>ほかの多くの市でも、コミュニティバスをやっていると思いますが、白井であれば梨のデザインを使っていたり、私は市川市に住んでおり、市川でも色々なデザインのコミュニティバスを走らせていますが、デザインの無い既成のバスを使っている自治体の事例はありますか。</p>
宮本様	<p>実際、市川市さんのコミュニティバスの南ルートのコルトンプラザから妙典駅、行徳駅を通過して医療センターへ行くバスは、京成グループの京成トランジットバスが運行をしており、トランジットバスの色の車両で走っています。ただ、車内の広告などは、地域の方から募集したものを貼っており、コミュニティバス的な要素を取り入れています。外見については、えんじ色の通常のトランジットバスで運行をしています。北ルートについては、京成バスさんで特殊ボディカラーのバスを採用して運行しています。</p>
委員長	<p>今回の争点としては、来年度からの予算が、コミュニティバスを365日動かすだけでは、予算が多いので、前回の委員会で事務局の説明や委員の皆様のお話で、ニーズが上がってきたものの中で、何がクリアできるかとい</p>

うことになると思います。鎌ヶ谷観光様から話があった車両が2台になると人件費も2倍になるということでは、予算が足りなくなってしまうので、通常のやり方で考えていくことは、難しいだろうと思います。その中で、バス事業者さんに考えていただいた結果、70台の車両があるので、70台の車両総掛かりでききょう号を便利にしますということだったと思います。鎌ヶ谷観光様には、大変だと思いますが、もう一度、考えていただきたいと思っています。

独自のカラーリングを出してやっていくのか、それとも実を取るのかという話だったと思います。私の知る限りでは、このような運用をするのは、日本で初めてだと思います。多くのコミュニティバスが、市の独自のカラーリングやクラシックなバスを使ってやっていると思います。そうすることで車両に規制をかけて、大きな金額を予算の中で落としていると思います。

バス事業者さんの提案として、市の独自のカラーリングは、無くなってしまいますが、ききょう号を便利にしていく方法を提案していただいておりますが、いかがでしょうか。

それでは、再度、お諮りいたします。

運行経費の軽減のためには、ききょう号のカラーリングについて、ききょう号の独自のカラーリングでなくても良い、とお考えの方は挙手をお願いします。

-----賛成多数-----

委員長

ありがとうございます。

賛成多数でございますので、当検討委員会の意見といたしましては、運行経費の軽減のためには、ききょう号独自のカラーリングでなくても良いといたします。

運賃収入については、運賃設定や運行経費にも関わりがありますので、事務局の方にバス事業者さんの要望を聞いていただき、次回までに調整をしていただくこととして、賛成の方は、挙手をお願いします。

-----賛成多数-----

委員長

賛成多数です。

事務局の方で何か問題ありますか。

事務局

問題ありません。

委員長	<p>バス事業者様の方からご提案がありましたが、極端にコミュニティバスが変わる場合があるかもしれませんが、何かご要望、問題提起等ございましたらお願いします。</p> <p>白石委員どうぞ。</p>
白石委員	<p>はい。</p> <p>バスが1台から2台になると時刻表は、相当変わりますか。現在の1分刻みの時刻表と同じでは、信号待ちを何回もすると遅れが発生することが目に見えていると思います。</p>
飯塚様	<p>バスの運行は、AからBというのを、1運行と考えていただいて、Aの起点が新鎌ヶ谷としてBの終点を馬込沢とすると、途中のバス停では多少の遅れが発生する場合がありますが、次の起点から遅れが出ないように調整をし、定時に発車ができるようにします。</p>
白石委員	<p>遅れがなくなれば、利用したいと考える方も増えてくると思います。そこにつなげて欲しいと思います。</p>
委員長	<p>ほかに何か意見は、ございますか。</p>
事務局	<p>事務局から、意見をよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>はい。</p>
事務局	<p>運賃の値上げについては、利便性の向上を図った時期と思われませんが、利便性の向上の中身が見えておりません。現在の運賃が100円であり、それでも高いという市民のご意見もあります。また、政治的な判断もあるといった中で、総合的な判断が必要だと思います。ある程度、利便性の中身が見えてきた一定の時期に、事務局は判断し、検討していきたいと考えます。</p>
委員長	<p>今日の段階では、運賃の値上げについて要望があったということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>今日の段階では、バス事業者の方や委員の中から運賃の値上げの要望と値下げについての要望があったということで、議事録に留めておきたいと思います。</p>
委員長	<p>今日は、ここまでで、よろしいでしょうか。</p>

	<p>次回が最後ということですが、事務局やバス事業者の方で調整も必要と思いますので、次回だけでは足りないと思います。会議を1回増やしたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご異議がございませんので、次回は、実施金額を含めた検討をする。会議を1回追加し、最終結論を出すことといたします。</p>
事務局	<p>本日の議題については、これで終了となります。事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>次の検討委員会の日程でございますが、8月24日、月曜日、午後2時から開催したいと考えております。会場につきましては、ここの第1、第2委員会室がほかの会議での先約があるため、隣の建物、福祉保健センター4階の研修室となります。</p> <p>また、追加の1回につきましては、日程を調整後、通知いたしますのでよろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありましたが、第3回の開催についてですが、8月24日月曜日、午後の皆様のご都合はいかがでしょうか。</p> <p>よろしければ、8月24日月曜日、午後2時とし、詳細は追って通知させていただきます。</p> <p>ほかに、何かありますか。</p> <p>無いようですので、これで第2回鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会を閉会します。</p> <p>進行を事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様、お疲れ様でした。</p> <p>本日の報酬につきましては、後日、口座振り込みとさせていただきますのでよろしく願います。</p> <p>本日は、お疲れ様でした。</p>

会議議事録署名人の署名

以上、会議の経緯を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年10月15日

氏名 田中 修

平成27年10月15日

氏名 大塚 潤一

